

【基本教育科目/社会の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
政治と行政	NLA21_004	選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
新津 修	教員控室	kango	Teams、メールで随時質問等受付		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;暮らしや社会の仕組みを決定している公共政策について学び、誰がどこで決定しているかを理解することにより、公共政策への関与の姿勢や対処方策を身に付けることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;現代日本の公共政策の現状、決定過程、課題等について学習する。事前に講義の要点を示した資料を配布し、最新の資料(パワーポイント)により講義を行う。講義終了後、課題についてのレポートを作成することにより理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	公共政策の新たな動きについては、インターネット検索で容易に閲覧することができるので可能な限りこうした情報に目を通しておくことが望ましい。				
教科書	事前に講義の要点を示したプリントを配布する。				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公共政策の実施主体について理解し説明できる。		HSU(2),NS(1)		
②	国や地方自治体の制度や仕組みについて理解し説明できる。		HSU(2),NS(1)		
③	公共政策の決定過程について理解し説明できる。		HSU(2),NS(1)		
④	日本の公共政策とその課題について理解し説明できる。		HSU(2),NS(1)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公共政策とその実施主体について学習する。	講義・演習(レポート作成)	・事前に配布する資料で予習する。 ・課題についてレポートを作成し提出する。 ・Teamsでフィードバックされたレポートについて振り返りを行う。	4	
2	国会と地方議会について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
3	選挙と政党について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
4	国と地方の役割分担について学習する。(1)	講義・演習(レポート作成)		4	
5	国と地方の役割分担について学習する。(2)	講義・演習(レポート作成)		4	
6	国の租税政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
7	地方の租税政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
8	国の財政政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
9	地方の財政政策について学習する	講義・演習(レポート作成)		4	
10	医療保険政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
11	介護保険政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
12	教育政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
13	安全・安心・防災政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
14	産業・環境・交通政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
15	現代日本の課題と公共政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)		4	
試	なし				

【基本教育科目/社会の理解】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	30	0	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	30	0	0	0	30
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	課題レポート全体について評価を行うが、予め指定する2回程度については採点し、評価の対象とする。				課題レポートについてはTeamsによりフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	山梨県庁企画部・総務部等で37年間(うち13年間 市町村行政関係・選挙管理事務)の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	地方自治体での勤務経験を活かして、様々な政策決定過程の実例を交えながら講義を進める。写真やグラフ、具体的なデータなどを使用して分かりやすい授業を目指す。						
その他	・対面方式の授業を基本とするが、要望により双方向型の遠隔授業も併用可能とする。 ・講義の進捗状況や新たな公共政策の登場などの社会情勢によってシラバスを変更することがある。						